



スキージャンプ体験・見学会

7月6日に花輪スキー場で、スキージャンプの体験・見学会が開かれ、多くの親子が参加しました。

このイベントは、鹿角ジャンプスポーツ少年団が競技人口の拡大を目的に行っているもので、参加者は、スロープカーでジャンプ台頂上に登ったり、団員らのデモンストラ

ションを見学したりしました。ジャンプ台頂上に登った子どもらは、雄大な景色と迫力満点のジャンプを間近で見て歓声を上げていました。

まちの話題

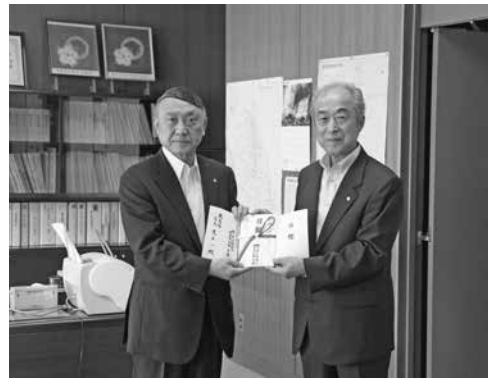


秋田県信用組合寄附金贈呈式

秋田県信用組合の創立70周年の記念事業の一環として、本市に寄附金が贈呈されることになり、7月2日に贈呈式が行われました。

寄附金は児童書の購入に充てられ、市内図書館に「けんしん文庫」が設置されることになっています。

北林理事長は、「秋田の将来に役立つ人材の育成と教育支援に役立ててほしい。今後地域発展に貢献していきたい。」と話しました。これに対し児玉市長は、「鹿角の未来を担う子どもたちのために有効に活用したい。」と述べました。



山崎さん全国大会出場報告

第48回秋田県消防救助技術大会において、鹿角広域消防署代表で出場した山崎雄平隊員が全国大会の出場権を獲得し、7月3日に児玉市長を訪問しました。

山崎隊員は、ロープブリッジ渡しの部において、秋田県1位の成績を収め、8月25日に岡山県で開かれる全国大会に出場します。

山崎隊員は日ごろの訓練について、「同世代のライバルがおり、技術向上を目的に切磋琢磨している。」と語っていました。



鹿角のGENKIに点火

7月6日に文化の杜交流館コモッセで「鹿角GENKIカレッジ」のキックオフイベントが開催されました。

このカレッジは、人口減少が課題となる中で、地域で行動を起こすことのできる人材を育成し、地域の活力を維持しようと市が行っている取り組みです。

キックオフイベントでは、現在市内で活躍中の4人がパネラーを務め、自身の活動を紹介したほか、苦労したことや地域への思いなどを語りました。

取り組み姿に、ひととき大きな声援が送られました。



社会を明るくする運動市民集会

7月5日に文化の杜交流館コモッセで、「社会を明るくする運動市民集会」が開かれ、実施委員会関係者や地域の方々などおよそ500人が参加しました。

この運動は、犯罪や非行の防止、罪を犯した人の更生保護について理解を深めることを目的とした取り組みです。

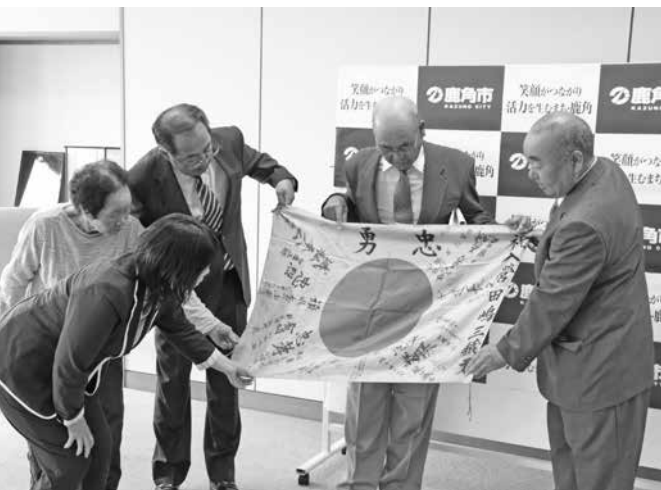
今回の集会では、更生保護制度が施行されて70周年を迎えることを記念し、罪を犯した子どもたちの立ち直り支援を行う女性保護司の活動を描いた作品「君の笑顔に会いたくて」が上映されました。



日章旗返還

7月5日、太平洋戦争末期のレイテ島海戦で戦死した田嶋三蔵さんが戦地に持参した日章旗が、遺族に返還されました。この日章旗は、米テキサス州在住のピート・ゴバーさんが、元米兵の父親から譲り受けたもので、ピートさんの希望により返還が実現しました。

遺族代表の田嶋勇二さんは、「本人も故郷に帰りたいと願っていたと思う。戦後70年余りが過ぎた今、こうして日章旗が私たちのもとに返ってきたことをありがたく思っています。」と感謝の意を述べました。



百歳長寿を祝う 藤村みちるさん

藤村みちるさん（大正8年青森県生まれ）が7月8日に満100歳の誕生日を迎え、児玉市長が顕彰状と祝い金を贈り、長寿を祝いました。

藤村さんの長寿の秘訣は、さまざま年代の人とおしゃべりをしたり笑ったりすることだそうです。



月山神社例大祭

7月12日から13日にかけて毛馬内の月山神社の例大祭が行われました。

12日の午前中には、年に一度、月山神社内の神殿に通じるといわれる扉を開く「御開扉」が執り行われました。その後、巫女姿に着飾った地元小学生4人が「浦安の舞」を奉納しました。

厳かな雰囲気の中、しなやかに舞う小学生の姿は、訪れた方々を魅了しました。

